

令和7年度サポートルーム紹介

1 サポートルームの教職員紹介

指導教諭 教室主任・南成瀬中チーフ	平野 恵里	南中チーフ	岩崎 達也
つくし野中チーフ	樋口 航介	成瀬台中チーフ	井口 茜
南中副チーフ	田村 美保(田村 里美)	巡回指導教員	外谷場雄介(楠森 美緒)
巡回指導教員	森田 朱音(宇賀 恵理)		
南成瀬中専門員	本城 奈々子	南中専門員	齋藤 千紘
つくし野中専門員	永津 さつき	成瀬台中専門員	渡邊 光興

2 サポートルームの生徒数と巡回指導担当

中学校	生徒数				担当教員 (口チーフ)	開設日
	1年	2年	3年	計		
南成瀬中	6	11	4	21	平野、岩崎、樋口、井口、田村、森田	月、火、金
成瀬台中	3	10	0	13	井口、平野、外谷場	水、木、金
つくし野中	0	4	5	9	樋口、平野、田村	火、水、木
南中	8	22	13	43	岩崎、平野、樋口、井口、田村、外谷場、森田	毎日

※生徒数は2025年4月1日現在

3 サポートルームの年間計画 (保護者、担任との連携)

	月	保護者	担任	サポートルーム
前 期	4月	保護者会① 保護者面談①	担任面談① 学校生活支援シート作成 前期個別指導計画作成	学校生活支援シート作成 前期個別指導計画作成
	5月			
	6月	教室公開週間	教室公開週間	教室公開週間
後 期	7月			
	8月	保護者会(学習会)②	前期個別指導計画評価作成 後期個別指導計画作成	前期個別指導計画評価作成 後期個別指導計画作成
	9月			
後 期	10月	保護者面談②	担任面談②	
	11月	教室公開週間	教室公開週間	教室公開週間
	12月			
	1月			
	2月		学校生活支援シート評価作成 後期個別指導計画評価作成	教育課程届作成 後期個別指導計画評価作成
	3月	保護者面談③	担任面談③	新入生引継ぎ

4 サポートルームの目的

- ・障がいによる困難を改善、または克服すること。
- ・可能な限り多くの時間、在籍学級で他の生徒とともに学校生活を送ること。
- ・生徒の自立と社会参加につながる指導を進めること。

5 サポートルーム対象生徒



- ・通常の学級に在籍している生徒
- ・知的障がいのない発達障がいまたは、情緒障がいの生徒(これに近い特性のある生徒)
- ・通常の学級での学習に概ね(週3日程度)参加でき、一部特別な指導を必要とする程度の生徒

6 サポートルームの指導内容

- ・一人ひとりの障がいの状態や発達の段階に応じた指導目標を設定して、障がいによる学習又は生活上の困難を改善・克服するための指導を行う。
- ・指導するに当たっては、自立活動の中から個々の生徒に必要な項目を選定し、具体的な指導内容を設定する。
- ・自立活動の指導計画は個別に作成することが基本であり、集団で指導することを前提とするものではない。
- ・学習の遅れをとり戻すための補習ではなく、各自に有効な学習方法やスタイルを見つけるための指導を行う。

7 サポートルームの指導形態

- ・基本は、週2単位時間
- ・個別学習と小集団学習を組み合わせるが、必ず両方の指導が必要なわけではない。

個別学習例	小集団学習例
マンツーマンで、生徒の課題に応じた学習を行います	個別の課題を設定しながら、学び合いの活動を行います
<p><指導例> 自己理解、他者理解、漢字、英単語の読み書き、文書の読み取り、聞き取り、記憶、集中力を高める指導等</p>  <p>リフレーミングの学習を通して、自己理解や自己コントロールの方法を学びました。</p>	<p><指導例> ソーシャルスキル、コミュニケーションスキル 気持ちや行動のコントロール等</p>  <p>自分に合った忘れ物対策を Chrome で調べた後、友達と意見交換をしました。</p>

8 サポートルームの通室日、時間、欠席連絡

- ・通室日、時間は指導開始前までには決定し、保護者・担任に伝える。
通常学級の時間割変更に伴い、学期途中に通室日時が変更する可能性がある。
- ・週に1回しかない、技術家庭、音楽、美術、道徳、総合、学活等には当てないようにする。
- ・通室日に、行事の練習やテスト等で欠席する場合は、できるだけ早くサポートルーム教員に伝える。
- ・体調不良等で当日急に欠席となった場合は、通常通り在籍学級に保護者が電話連絡をする。